

カリキュラム(案)一覧表

赤字: 修正箇所、新規追加
 青字: 移動してきた項目
 背景グレイ: 削除または移動した項目

資料2参考資料

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B1	地域を理解する	地域を理解する	C1	地域における多様性と共生社会	多様な人達と共に生きる	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	障がい者、外国人など地域に住む様々な住民の多様性を理解・尊重し、住民同士が互いに協力し住みやすい地域社会を構築することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす住民等の多様性の理解と尊重 ・隣保協同の精神 ・人権に対する理解、差別的・反倫理的言動の危険性 ・多様な価値観等に関する知識
						C2	地域づくりと防災	地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	自主防災活動を地域活動の一環として取り組むため、日頃から積極的にコミュニケーションを図り、お互いに顔の見える関係を構築することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化等の課題 ・自主防災活動の取組と地域づくりの意義 ・防災活動と地域の様々な活動との連携の取組事例
						C3		1.3. わがまち(地域)の災害発生のおそれ <C12から移動>	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。 また、被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	自分たちの地域の災害脆弱性を適切に把握し、対策の検討や災害対応に活用することができる人材を育てる。また、自分たちの地域の被害想定について把握したうえで、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の地形、地盤 ・地域の河川、海岸 ・地域に影響する活断層 ・地域の気象特性 ・地域の人口構成(昼間・夜間) ・地域の要配慮者 ・地域の建物(公共施設、住居の密集具合等) ・地域の交通・道路(高架橋、アンダーパス等) ・私たちの地域(まち)の災害に対する脆弱性(地震、津波、大規模火災、洪水、土砂災害等) ・私たちの地域(まち)の過去の災害履歴 ・地域に想定されている被害・影響(被害想定やハザードマップ等を用いて) ・各種災害の被害想定等の調査方法(地域の災害危険調査、地域資源の調査) ・地域の災害危険や地域資源の調査方法(防災まち歩き、防災マップづくり等)

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項) (つづき)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B2	自主防災組織概論	自主防災組織を理解する	C4	自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	地域の住民等に対して、自助・共助の重要性を理解させ、自主防災活動への参画を促すことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動の重要な柱「自助」「共助」「公助」の考え方 ・公助の限界 ・自助・共助による「ソフトパワー」の重要性 ・地域における自主防災活動の必要性
						C5	自主防災組織の役割、運営体制	自主防災組織の役割等	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	自主防災組織の役割、運営体制、活動内容等に対する理解を深め、自主防災組織のリーダーとして組織を運営していくことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が求められる背景・目的、役割 ・自主防災組織の結成、組織構成 ・自主防災組織の運営、活動内容 ・自主防災組織の活動費用 ・自主防災組織の規約例
						C6	地域防災を推進する主体とその連携の方法	地域をとりまく団体等との連携	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。 併せて、相互に連携するためのネットワークづくりの重要性や、コミュニケーション・コーディネート等の方法等について学ぶ。	地域で防災活動に携わる多様な主体の存在を理解し、互いに顔の見える関係を構築し、相互に連携協力することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災を推進する地域の組織や専門的知見を持った人材、活用方法(民生委員・児童委員、社会福祉協議会、福祉団体、女性防火クラブ、少年消防クラブ、PTA、企業、事業所、医療機関、看護師等、ボランティア、NPO等) ・様々な地域の関係組織等との平常時・災害時における連携・協働の必要、取組事例、連携・協働のポイント ・自主防災組織と各種団体との連携方法(連携事例) ・ネットワークづくりのコツ(コミュニケーション・コーディネーションの方法等)

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項) (つづき)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B2	自主防災組織概論(つづき)	自主防災組織を理解する(つづき)	C7	地域の防災計画等の立案と見直し	わがまち(地域)の防災計画	自主防災組織の運営の実効性を高めるために、自主防災組織等がわがまち(地域)の防災計画(地区防災計画等)を作成する必要があることを学ぶ。また、計画に盛り込むべき主な項目や内容、計画立案の際の留意事項、見直す方法について、ガイドラインや作成事例等を通じて学ぶ。	自組織の特性や目的、レベルに合わせた地区防災計画等の防災計画を作成し、計画に沿った活動を行うとともに、活動の結果を評価し、改善に結びつけるための取組を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災計画を作成する意義 ・地域の防災計画の主な項目、記載内容 ・地区防災計画とは(創設の経緯、策定の意義等) ・地区防災計画の主な内容 ・地区防災計画の策定の流れ(計画策定に向けたガイドラインの活用方法) ・地区防災計画の運用(計画提案の手続き、見直し、改善への取組) ・地区防災計画の作成・運用事例
						C8	地区防災計画の策定	<C7と統合>	地区防災計画の制度や、地区防災計画ガイドラインの活用方法、計画提案の手続き、実践と検証等について作成事例等から学ぶ。	災害対策基本法における地区防災計画制度の趣旨、内容、策定手続き等を理解し、地域の特性や実情に合わせた地区防災計画を作成することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画とは(創設の経緯、策定の意義等) ・地区防災計画の主な内容 ・地区防災計画の策定の流れ(計画策定に向けたガイドラインの活用方法) ・地区防災計画の運用(計画提案の手続き、見直し、改善への取り組み) ・地区防災計画の作成・運用事例

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項)(つづき)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B3	地域の防災リーダーの役割	地域の防災リーダーの役割を理解する	C9	地域の防災リーダーの役割	地域の防災リーダーの役割	自主防災組織の代表や、代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、その活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーがその活動中に抱えるストレス等について学ぶ。	地域の防災リーダーとしてのやりがいを感じながら、リーダーシップを発揮し、他のリーダーと協力して組織の防災活動を展開することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの役割 ・組織の代表者や特定の活動の中心となる立場にある者(組織の運営に何らかの責任を持って関わる者)が防災リーダーとして相互に協力し組織を運営することの重要性 ・防災リーダーの条件 ・防災リーダーとしての活動内容 ・リーダーシップを発揮する方法(統率、決断、判断、変革、責任、先見、目標設定、多面的視野等、リーダーシップを発揮するためのポイント) ・リーダーがその活動中に抱えるストレス ・組織の発展段階(創設期、初期、発展期等)に応じた防災リーダーのあり方(事例)
						C10	地域防災を担う人材の発掘・育成	仲間を増やす	<p>多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。</p> <p>また、自主防災活動を長期にわたり継続していくため、次代を担うリーダーを発掘し、育成していくことの重要性について学ぶ。</p>	<p>自主防災活動に対する住民の理解を促進し、自主防災活動に積極的に参加させるとともに、組織としての活動を継続するために自身の後継者を育てることができる人材を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とのコミュニケーションを通じた地域の人材把握の方法、人脈・ネットワークのつくり方 ・地域住民を巻き込むコミュニケーションの取り方(傾聴、会話、調整) ・自主防災組織をはじめとする地域防災の人材発掘・育成の重要性 ・学校が行う防災教育と地域が連携した活動事例 ・地域防災活動に若い世代を巻き込んでいる活動事例
						C11	防災と男女共同参画	性別にとらわれず地域防災に互いに協力して取り組む	<p>実災害の事例や日常の防災活動の現状を通じ、男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。また、地域防災活動における男女共同参画の視点による具体的な取組事例について学ぶ。</p>	<p>平常時・災害時の自主防災活動に、女性を積極的に参画させるなど、女性の視点を地域防災活動に反映することができる人材(女性の防災リーダー含む)を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災への女性の視点の必要性 ・防災基本計画、男女共同参画基本計画の方針 ・日頃の防災活動の現状(女性の参画割合の低さ等) ・災害時の性別役割の固定化等の現状 ・意思決定の場への女性の参画の必要性 ・平常時の防災活動における女性参画例(組織の意思決定機関への参加、マニュアルづくりや訓練の企画への参加等) ・災害時における女性防災リーダーの参画例(避難所運営委員会、災害復興検討チームへの参画等) ・女性の参画にあたっての課題と対応例 ・私たちの地域(まち)の女性の活動実態と女性参画のための方策、課題の検討

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項)(つづき)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B4	地域の災害危険性と被害想定	C3に移動	C12	地域の災害危険性	わがまち(地域)の災害発生のおそれ <C3に移動>	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。 また、被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	自分たちの地域の災害脆弱性を適切に把握し、対策の検討や災害対応に活用することができる人材を育てる。 また、自分たちの地域の被害想定について把握したうえで、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の地形、地盤 ・地域の河川、海岸 ・地域に影響する活断層 ・地域の気象特性 ・地域の人口構成(昼間・夜間) ・地域の要配慮者 ・地域の建物(公共施設、住居の密集具合等) ・地域の交通・道路(高架橋、アンダーパス等) ・私たちの地域(まち)の災害に対する脆弱性(地震、津波、大規模火災、洪水、土砂災害等) ・私たちの地域(まち)の過去の災害履歴 ・地域に想定されている被害・影響(被害想定やハザードマップ等を用いて) ・各種災害の被害想定等の調査方法(地域の災害危険調査、地域資源の調査) ・地域の災害危険や地域資源の調査方法(防災まち歩き、防災マップ作り等)
						C13	各種災害の被害想定等	<C12と統合>	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	自分たちの地域の被害想定について把握したうえで、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画やハザードマップから、私たちの地域(まち)に起きうる災害と被害の確認 ・私たちの地域(まち)の強みと弱みの整理 ※より内容を明確になるよう見直し、C12に統合

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項)(つづき)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B5	各災害の基礎知識	災害を理解する	C14	災害発生メカニズムと被害	災害発生メカニズムと被害の種類	地震、津波、風水害、火山災害やその他の災害発生メカニズム等についての知識、災害と被害との関係について学ぶ。また、動画や写真等を使って災害発生時の状況をイメージする。	災害の発生状況や被災する社会の状況をイメージする中で、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<p><メカニズム></p> <ul style="list-style-type: none"> 地震による揺れのメカニズム マグニチュードと震度 揺れによる被害の種類と概要(建物倒壊、液状化、火災等) 津波のメカニズム 津波による被害の種類と概要(浸水害) 風水害発生メカニズム(大雨、台風、竜巻突風等) 被害の種類と内容(洪水害、浸水害(内水氾濫)、高潮、風害) 土砂災害発生メカニズム(地震、大雨、台風、融雪) 土砂災害の種類と内容(土石流、地すべり、がけ崩れ) 雪害発生の特性、豪雪の仕組み 雪害による影響と変遷 火山噴火のメカニズム 火山噴火による被害の種類と内容(噴火、降灰、土石流) 原子力災害のメカニズム 原子力災害による被害の種類と内容(放射線) <p><災害発生・被災する社会イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害の発生イメージ、被災する社会のイメージ(シミュレーション動画、写真、映像等の記録) <p>※地震、津波、台風、洪水、高潮、土砂災害、竜巻、大雪、火山噴火、原発等危険物爆発等</p>

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項)(つづき)		B5	各災害の基礎知識(つづき)	災害を理解する(つづき)	C15	過去の災害事例	過去の災害事例と教訓の伝承	過去に発生した地震災害、風水害、火山噴火、原子力災害などにおける一般住民、自主防災組織のリーダー等、自衛消防組織(企業)等、ボランティア及び小中学校等による対応事例から、災害対応の内容や、対応上の課題等について学ぶ。 また、大規模災害に関する調査分析結果や映像を含めた各種資料、石碑、災害遺構等から、住民が主体的に災害教訓を伝承する大切さを知るとともに、過去の災害での成功事例だけでなく今後活かされるべき教訓を、今後の地域防災対策の糧として活かす方法について学ぶ。	災害の対応の困難や課題等をイメージする中で、 自らの地域や他の地域における過去の災害教訓を活かしながら 地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<p><過去の災害事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の地域住民の行動事例 ・災害発生時の自主防災組織の行動事例 ・災害発生時の地域リーダーの行動事例 ・災害発生時の企業内の自衛消防組織の行動事例 ・災害発生時の小中学校の対応事例 ・災害発生時のボランティアの行動事例 <p>※地震、津波、台風、洪水、高潮、土砂災害、竜巻、大雪、火山噴火、原発等危険物爆発等</p> <p><災害教訓の伝承></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害教訓の伝承の必要性(記録資料、体験談、災害遺構、石碑等) ・災害教訓を活用した地域防災活動(事例等) ・自地域で伝承されている災害教訓(記録資料、体験談、災害遺構、石碑等) ・地域防災活動への災害教訓の活かし方 ・地域における過去の災害事例、災害体験をまとめた広報紙の発行 ・絵本や人形劇を通じた震災の経験の伝承
						C16	教訓の伝承	<C15と統合>	大規模災害に関する調査分析結果や映像を含めた各種資料、石碑、災害遺構等から、住民が主体的に災害教訓を伝承する大切さを知るとともに、過去の災害での成功事例だけでなく今後活かされるべき、教訓を今後の地域防災対策の糧として活かす方法について学ぶ。	自らの地域や他の地域における過去の災害教訓を活かして、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害教訓の伝承の必要性(記録資料、体験談、災害遺構、石碑等) ・災害教訓を活用した地域防災活動(事例等) ・自地域で伝承されている災害教訓(記録資料、体験談、災害遺構、石碑等) ・地域防災活動への災害教訓の活かし方

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項) (つづき)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B5	各災害の基礎知識(つづき)	災害を理解する(つづき)	C17	今後発生しうる主な大規模災害	今後発生が懸念される主な大規模災害	今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの大規模地震や、大規模風水害、火山災害等が発生した場合に想定される被害、防災上の課題と対策について学ぶ。	自らの地域で想定される大規模災害の被害や社会的影響を理解したうえで、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<p><地震></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の国土の状況(過去の地震の震源分布、プレート・断層分布、火山分布) ・地震の発生確率 ・南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害予測 ・大規模地震発生時に懸念される地域防災上の課題と対策 <p><風水害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象の変化等による今後の傾向 ・「大規模水害対策に関する専門調査会」が対象とする「利根川、江戸川、荒川の堤防決壊」や、巨大台風等、大規模風水害時に懸念される地域防災上の課題と対策 <p><火山災害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山をはじめとした最大級の火山噴火における地域防災上の課題と対策
			B6	防災のしくみ	防災5対策をわが国・わがまち(市区町村、都道府県)の防災	C18	我が国の災害対策	わが国の防災対策	<p>発生直後の応急対応と、復旧・復興期の対応、平常時の対策を一体的に捉え、減災に取り組むことを理解できる。</p> <p>また、各段階の対策を支える防災に関する法律や計画、行政機関の防災に関する組織と体制全般について学ぶ。</p>	<p>減災への取組の基本を理解したうえで、市区町村や都道府県、国等(公助)の役割等を踏まえて、地域の防災活動に取り組むことができる人材を育てる。</p>	<p><わが国の防災対策(概要)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・減災への取組(発生直後の応急対応と、復旧・復興期の対応、平常時の対策を一体的に捉え、減災に取り組むという減災のサイクルの流れ) ・国における国土強靱化の対策 ・平常時における災害予防対策(被害抑止と被害軽減の考え方を含む) ・災害発生直前から災害発生後の災害応急対策 ・災害復旧・復興対策 <p><防災関係法令></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国における防災に関する法令等(災害対策基本法等) <p><防災計画・取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国における防災の計画(防災基本計画等) ・国一都道府県一市区町村における防災上の役割と取組(市区町村における取組の詳細内容は次項目で解説) ・指定公共機関等における防災の取組 ・広域ボランティア団体等における取組(JVOAD等)

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A1	基礎 (自主防災活動を行う上で前提となる事項)	自主防災活動を行う上で前提となる事項	B6	防災のしくみ(つづき)	5道府県(わが国の防災・対策を理解する(市区町村、都	C19	市区町村の災害対策	わがまち(市区町村、都道府県)の防災対策	地域に身近な基礎自治体である市区町村の防災に関する組織と平時・災害時に実施する防災活動の内容、防災対策の現況について学ぶ。	自地域の市区町村の平常時・災害時の防災活動と連携して、地域の事前対策に取り組んだり、災害時に適切な対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> わがまち(市区町村、都道府県)の地域強靱化計画(国土強靱化地域計画) わがまち(市区町村、都道府県)の防災体制(組織構造、役割) わがまち(市区町村、都道府県)の災害予防対策 わがまち(市区町村、都道府県)の災害応急対策 わがまち(市区町村、都道府県)の災害復旧・復興対策 わがまち(市区町村、都道府県)が実施する家庭や自主防災組織等に対する支援策(助成、支援事業、あっせん等) わがまち(市区町村、都道府県)が実施する防災研修・防災訓練(総合防災訓練、防災研修、出前講座、体験施設等) わがまち(市区町村、都道府県)が発信する防災に関する情報(防災行政無線、ホームページ、防災メール(登録)等)
			B7	災害に強いまちづくり	△削除▽	C20	災害に強いまちづくり	<削除>	災害に強い地域社会の形成に向けた地域や行政における取組について、ハード対策・ソフト対策の両面から学ぶ。	被害を抑止・軽減するための各種対策を踏まえて、地域の脆弱性や対策への取組状況に応じ、地域で実践するハード対策及びソフト対策の重要性を理解できる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域におけるまちづくり協議会の組織化、取り組み 地域における過去の災害事例、災害体験をまとめた広報紙の発行 絵本や人形劇を通じた震災の経験の伝承 防災運動会を通じた防災の意識付け 団体間での防災活動の支援 関係団体との協定等 門柱やブロック塀の点検、防災対策 家具の固定等の支援 細街路の拡幅 耐震水槽、防災井戸の設置

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A2	災害予防	災害への事前の備え	B8	災害に対する備え	災害に備える	C21	事前の備え	事前の備え	非常用持出品、備蓄品などあらかじめ備えておくべきこと、家族間の連絡方法(集合場所、 災害用伝言サービスの利用方法)や避難する先など、家庭であらかじめ備えておくべきことについて学ぶ。	災害発生に備えて自助として行うべき事前の備えを自身で行うとともに、住民等に対し対策を啓発し促進することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 非常持ち出し品、備蓄品の管理 集合場所や避難場所、避難ルートの確認 避難の際の連絡方法、連絡先の確認 災害用伝言サービスの確認 災害時の情報収集手段の確認(電話の輻輳回避) 帰宅困難時の事前の備え 損害保険の種類と契約(地震保険、火災保険等)
						C22	我が家の安全対策	わが家の安全対策	耐震診断や耐震補強の必要性和簡易な診断でわが家の耐震性を確認する方法や耐震化の具体的な方法を学ぶ。 また、家具の転倒防止、食器類等の落下防止、寝室の安全対策、プロパンガスボンベ固定の補強、 門柱やブロック塀の点検・補強 、ガラスの飛散防止、消火器の定期点検など、わが家の安全性を高める方法について学ぶ。	地震災害発生に備えて自助として行うべき住宅の耐震対策やわが家の安全対策を自ら行うとともに、住民等に対し対策を啓発し促進することができる人材を育てる。	<p><耐震対策></p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅等の耐震診断と耐震補強の必要性、助成制度 耐震診断(地盤、基礎、建物の形、壁の配置、筋交い、壁の割合、老朽度、その他) ブロック塀の安全点検と改善の必要性、助成制度 我が家の耐震診断(地盤、基礎、建物の形、壁の配置、筋交い、壁の割合、老朽度、その他) 耐震診断等の相談先 <p><安全対策></p> <ul style="list-style-type: none"> 室内の安全対策(家具や冷蔵庫、テレビ等の転倒防止、食器等の落下防止、照明機器等の落下防止、ガラスの飛散防止、感震ブレーカー設置等) 外回りの安全対策(ガスボンベ固定の補強、門柱やブロック塀の点検・補強、壁や屋根の補強、洪水による浸水対策等) 火災対策(自宅における火災報知器の設置、消火器の定期点検、漏電対策等) 水防対策
						C23	我が家の耐震対策	<C22と統合>	耐震診断や耐震補強の必要性和簡易な診断で我が家の耐震性を確認する方法や耐震化の具体的な方法を学ぶ。	地震災害発生に備えて自助として行うべき我が家の耐震対策を自ら取り組むとともに、住民等に対し対策を啓発し促進する人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 建物の耐震診断と耐震補強の必要性、助成制度 ブロック塀の安全点検と改善の必要性、助成制度 我が家の耐震診断(地盤、基礎、建物の形、壁の配置、筋交い、壁の割合、老朽度、その他) 耐震診断等の相談先

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A2	災害予防(つづき)	災害への事前の備え(つづき)	B9	地域住民の防災活動の促進	住民の防災に関する意識、知識を高める	C24	住民の役割	住民の 防災意識の向上	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。 また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	地域住民一人一人が地域防災に関心を持ち、平時から地域で取り組む防災活動に積極的に参加するよう、イベント等を通じた活動の必要性について理解できる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の防災力向上の必要性 地域ぐるみの防災意識の啓発 災害時における地域住民の主な活動 地域住民の連携と日頃の交流の重要性 平常時における地域住民との交流方法、ポイント(事例等)
						C25	防災知識の普及・啓発	住民への 防災知識の普及	市区町村等から発行される防災啓発パンフレット等を通じて、防災知識の普及啓発活動の目的や内容について理解するとともに、地域の住民への防災知識の普及・啓発の方法(チラシの作成・配布、防災講話やワークショップの開催など)について学ぶ。	効果的な地域住民への防災啓発活動を通じて、住民の防災への知識や意識が向上し、地域防災活動の活性化につなげることができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対する防災知識の普及の必要性 国が行う防災知識の普及・啓発活動(目的、主な内容、資料、窓口等) 都道府県が行う防災知識の普及・啓発活動(同上) 市区町村が行う防災知識の普及・啓発活動(同上) 住民に対する防災知識の普及・啓発の種類、方法(事例等)(防災マップ・パンフレット・広報紙等の作成・配布、気象情報や避難情報の説明会、アンケート調査、災害体験談・講話、地域の災害危険箇所を把握するワークショップ等)
			B10	防災訓練・講習会の企画運営	を わ が 実 が ま ち る (地 域)(B 13)(へ 移動) で 防災訓練や講習会など	C26	防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の 実施 <C32へ移動>	地域で実践される防災訓練等の事例をもとに、自主防災組織が中心となり、地域住民を対象とした防災講習会や防災訓練を企画・運営する上で必要な知識やスキルを学ぶ。 また、防災研修や防災訓練の際に押さえておくべき前提となる地域の危険性を把握する方法や、防災対策の手掛かりとなるマップの作成方法について具体的な実施方法を学ぶ。	地域の課題やレベルに適した防災訓練や講習会を自分たちで企画・実施し、地域の防災力を向上させることができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育・訓練の必要性 防災学習の種類、方法(事例等)(講習、講演、体験談、eラーニング等) 防災ワークショップ研修の種類、方法(事例等)(防災マップ作成ワーク、防災計画やマニュアルの作成ワーク、各種団体との交流ワーク等) 個別訓練(消火訓練、避難訓練、安否確認訓練、救出・救助訓練、応急救護訓練、避難所開設運営訓練、情報伝達訓練、給食・給水訓練、要配慮者対応訓練等)(※) 総合防災訓練の種類、方法(事例等)(個別訓練を組み合わせた訓練、図上訓練、クロスロードゲーム等) 総合防災訓練(事例等)(市区町村等がおこなう防災訓練等) <p>※ここでは訓練の種類やその概略のみ説明し、訓練の具体的な内容は、応急対策の該当する各項目で実施</p>

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A2	災害予防(つづき)	災害への事前の備え(つづき)	B11	災害発生に備えた体制の構築	わがまち(地域)の防災体制をつくる	C27	情報収集・伝達のしくみづくり	地域の情報収集・伝達	<p>災害時に地域で収集・伝達すべき情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。</p> <p>また、あらかじめ地域における情報収集・伝達のための体制構築の方法、円滑に行うためのマニュアル作成や実行性を高めるための訓練の方法について学ぶ。</p>	<p>災害発生に備えて地域の情報収集・伝達の体制を整備し、実効性のあるマニュアルの作成や訓練等に取り組むことができる人材を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における情報収集・伝達の課題、情報収集・伝達の重要性、体制づくりの必要性 ・情報収集・伝達の種類と内容 ・情報収集・伝達先の整理 ・情報収集・伝達手段の整備 (情報の種類:防災気象情報、避難勧告等の発令状況、安否情報、地域の被害情報、周辺の被害情報、避難所開設・運営情報、災害ボランティアセンター開設情報、市の支援情報) ※留意事項:高齢者や障害者、外国人等への配慮、SNS等最新ツールの活用上の注意等 ・情報収集・伝達のための体制整備の方法 (事例等) ・情報収集・伝達マニュアルの作成 (事例等) ・情報収集・伝達訓練の方法 (事例等)
						C28	避難所運営体制づくり	地域が中心となった避難所運営体制	<p>災害発生時に避難所を開設する目的や、避難所の種類や役割について学ぶとともに、自分たちが利用する指定避難所を確認する。</p> <p>また、関係者と連携しながら住民が中心となって避難所を運営する必要性や、円滑に避難所を運営するための体制づくりの方法、避難所を開設・運営するためのマニュアル作成、実行性・実効性を高めるための訓練の方法について学ぶ。</p>	<p>災害発生に備えて、避難所を利用する自主防災組織等が集まり、円滑に避難所を開設・運営するための体制を整備し、実効性のあるマニュアルの作成や訓練等に取り組むことができる人材を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設の目的 ・避難所の種類、役割 ・自分たちが利用する指定避難所の確認 ・災害時における避難所開設・運営の課題、体制づくりの必要性 (住民が中心となって避難所を運営する必要性、被災地での事例) ・避難所運営のための体制整備の方法 (避難所運営協議会等による避難所運営体制づくり等の事例等) ・避難所運営マニュアルの作成 (各市区町村等で作成の手引きやひな形等があれば活用、作成事例等) ・避難所開設・運営訓練の方法 (事例等)

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A2	災害予防(つづき)	災害への事前の備え(つづき)	B11	災害発生に備えた体制の構築(つづき)	わがまち(地域)の防災体制をつくる(つづき)	C29	要配慮者支援体制づくり	要配慮者の地域ぐるみでの支援体制	<p>要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。</p> <p>また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成、実行性・実効性を高めるための訓練の方法について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)</p>	<p>災害発生に備えて、要配慮者(避難行動要支援者)の安全を確保するための支援体制を整備し、実効性のあるマニュアルの作成や訓練等に取り組むことができる人材を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者と避難行動要支援者の意味 要配慮者の特徴、主な支援内容(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等) 災害時における要配慮者に起こる課題、支援体制づくりの必要(事例等) 要配慮者のための支援体制の整備の方法(事例等、各地方公共団体における避難行動要支援者に対する支援のための取組を含む) 要配慮者支援マニュアル作成の方法(事例等、避難行動要支援者の避難支援のための個別計画の作成方法含む) 要配慮者支援のための訓練の方法(事例等)
						C30	災害ボランティアの受援体制づくり	災害ボランティアの受入体制等	<p>避難所での炊き出しや家屋のがれき撤去など、被災者の生活を支え、復旧・復興で重要な役割を果たす災害ボランティアの存在や有用性について学ぶとともに、地域においてあらかじめボランティアを受け入れる力「受援力」を高めておくための平常時の取組や受入方法について学ぶ。</p> <p>また、自身も被災者を支援するボランティア活動に参加することの意義について学ぶ。</p>	<p>災害時に地域において円滑にボランティアを受け入れる力「受援力」を強化するため、災害ボランティアを受け入れるために必要な事前の体制づくりを行うことができる人材を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアの役割、活動の種類、内容(事例等) 災害時における被災者の課題、災害ボランティア活用必要性、有効性(事例等) 地域がボランティアを受け入れる力「受援力」の強化の必要性 災害ボランティアの受援体制の整備の方法(地域の情報整理、災害ボランティアセンター設置訓練への参加、災害時にお手伝いをしてもらえる相手の把握、受入時の留意事項等) 災害ボランティア受入マニュアルの作成(事例等) 自身がボランティア活動を行う場合の参加方法、参加時の留意点、心構え等

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A2	災害予防(つづき)	災害への事前の備え(つづき)	B12	防災資機材等の管理	防災資機材を管理する	C31	防災資機材等の管理	防災資機材の管理	自主防災組織が整備すべき防災資機材等の種類、防災資機材等の整備に必要な財源確保(行政等からの助成、自主的な資金調達など)の方法、防災資機材倉庫の場所と鍵の管理方法等の確認、備蓄状況の定期点検や防災資機材等の使用方法の事前確認の必要性等について学ぶ。	地域に必要な防災資機材を整備し、定期的な点検等を通じて適切に管理するとともに、災害時に適切に活用できるよう訓練に取り組むことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災資機材等を整備する必要 ・整備すべき防災資機材等の種類 ・防災資機材倉庫の管理 ・防災資機材の点検とリストの更新 ・防災資機材を活用した訓練の実施
			B13		すわがまち(地域)から移動(防災訓練や講習会など)を実施	C32	防災訓練・講習会等の実施 <C26から移動>	<p>地域で実践される防災訓練等の事例をもとに、自主防災組織が中心となり、地域住民を対象とした防災講習会や防災訓練を企画・運営する上で必要な知識やスキルを学ぶ。</p> <p>また、防災研修や防災訓練の際に押さえておくべき前提となる地域の危険性を把握する方法や、防災対策の手掛かりとなるマップの作成方法について具体的な実施方法を学ぶ。</p>	地域の課題やレベルに適した防災訓練や講習会を自分たちで企画・実施し、地域の防災力を向上させることができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育・訓練の必要性 ・防災学習の種類、方法(事例等)(講習、講演、体験談、eラーニング等) ・防災ワークショップ研修の種類、方法(事例等)(防災マップ作成ワーク、防災計画やマニュアルの作成ワーク、各種団体との交流ワーク等) ・個別訓練(消火訓練、避難訓練、安否確認訓練、救出・救助訓練、応急救護訓練、避難所開設運営訓練、情報伝達訓練、給食・給水訓練、要配慮者対応訓練等)(※) ・総合防災訓練の種類、方法(事例等)(個別訓練を組み合わせた訓練、図上訓練、クロスロードゲーム等) ・総合防災訓練(事例等)(市区町村等がおこなう防災訓練等) <p>※ここでは訓練の種類やその概略のみ説明し、訓練の具体的な内容は、応急対策の該当する各項目で実施</p>	

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A3	災害応急対応	災害への対応	B14	発災直前・直後の対応	発災の直前・直後に命を守る	C33	災害時にとるべき対応	災害時にとるべき行動(全般)	地震災害や風水害等、災害発生の直前・直後から時間を追った形での命を守るための行動・対応の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。 また、災害発生の直前・直後の対応に必要なスキルを身につける。災害発生時において地域や地域住民等の被害状況をイメージしながら、状況に応じて取るべき行動について学ぶ。	地震災害や風水害の発生直前・直後に、冷静かつ適切に地域住民が命を守るための行動をとることができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生直後の行動の流れ（安全確保→火の始末→避難・消火活動→救助活動→避難所開設） 風水害発生直前から発生直後の行動の流れ（気象情報の収集→避難準備→避難→避難所開設） 風水害時の避難に係る情報の収集・伝達の方法、避難行動、留意事項 地震災害時の対応方法、留意事項（家庭内で災害に遭遇した場合、駅や電車等の通勤途上で災害に遭遇した場合、地下街で災害に遭遇した場合、デパート等の商業施設で遭遇した場合、屋外や運転中に遭遇した場合、マンションに住んでいる場合、夜間に発生した場合）
						C34	避難に関する情報	避難に関する情報の収集	気象に関する情報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	災害発生の直前・直後において避難に関する情報を入手し、その内容を読み取り、迅速かつ適切に地域住民の避難の判断を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 防災気象情報の種類、内容、情報の読み方（気象に関する情報(予報・警報)、緊急地震速報、津波に関する情報(注意報・警報)、土砂災害に関する情報、竜巻に関する情報) 河川の水位の情報の種類、内容、情報の読み方 各種情報の入手先、手段、方法 各種情報を受け取った際にとるべき基本的な行動 避難情報(避難勧告等)の種類、内容、とるべき基本的な避難行動、留意事項
						C35	安全な避難	安全な避難行動	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	災害発生直前・直後において地域に避難の必要が認められた場合、リーダー自身及び組織のメンバー等の安全を第一に、地域に避難の必要性を呼びかけるとともに、適切に避難誘導を行うことができる人材を育てる。(避難行動要支援者の避難支援を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 災害別の安全な避難の方法、避難行動時の留意事項(避難所に行く際の通電火災防止を含む) 地域における避難誘導の呼びかけ・避難誘導(事例等) 避難行動要支援者の避難支援の方法、支援上の留意事項

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A3	災害応急対応(つづき)	災害への対応(つづき)	B14	発災直前・直後の対応(つづき)	発災直前・直後に命を守る(つづき)	C36	情報収集・伝達	住民の安否や地域の被害状況等の情報の収集・伝達	地域の災害対応に必要な情報(住民の安否情報、地域及びその周辺の被害情報、災害情報、市区町村等の対応情報等)の収集・伝達方法について学ぶとともに、情報の収集・伝達に必要なスキルを身につける。	災害発生の直前又は直後に、組織として災害対応に必要な情報を収集し、その内容に基づき情報伝達など地域で適切に災害対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応に必要な情報の種類、内容 情報収集・伝達の手順、留意事項 多様な手段(ツール等)を活用した情報収集・伝達の方法(SNS等最新ツールやアプリ等様々な手段の操作方法を含む)
						C37	初期消火	初期消火活動	消火の方法、消火に使う道具や機器、消火活動の手順とコツ、消火活動時の安全確保に必要な知識を学び、初期消火に必要なスキルを身につける。	地域で火災が発生した場合、自主防災組織のリーダーとして、住民等と協力し、迅速かつ適切に初期消火活動を行うための指揮をとることができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火の重要性 初期消火のための消火資機材の種類と使い方 消火活動時の留意事項
						C38	応急救護	応急救護活動	応急処置の方法、感染防止、止血法、心肺蘇生法など救命救急の基本的な知識について学び、応急手当に必要な基本的スキルを身につける。	地域内にけが人等が発生した場合、自主防災組織のリーダーとして、住民等と協力し、迅速かつ適切に救命処置や応急手当などの救護活動を指揮することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 応急救護の重要性 救命処置の種類と方法 乳児に対する救命処置の方法 その他の応急手当(感染防止、止血、気道異物除去) 包帯法 応急救護活動時の留意事項
						C39	救助	救出・救助活動	救助資機材の使用法、応急担架の作製方法・負傷者搬送方法について学び、救助のための基本的なスキルを身につける。	地域内に倒壊した家屋等に閉じ込められるなどした人が発生した場合、自主防災組織のリーダーとして、住民等と協力し、迅速かつ適切に救助活動を指揮することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 救出・救助の重要性 救出・救助の方法(倒壊家屋から、ブロック塀から、土砂崩れから) 救助資機材の種類、利用方法 負傷者の搬送方法 救出・救助活動時の留意事項

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A3	災害応急対応(つじき)	災害への対応(つじき)	B15	被災生活への対応	安心・安全に避難生活を送る	C40	避難所運営	避難所の開設・運営	適切なタイミングで避難所を開設するための方法や、関係者と連携しながら円滑に避難所を運営するための方法について学ぶとともに、避難所開設・運営に必要なスキルを身につける。	災害時に、避難所を共に利用する他の地域の自主防災組織や施設管理者及び市区町村職員と協力しながら、自主防災組織のリーダーとして避難所の自主的な運営をすることができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の開設・運営の流れ ・避難所の開設の手順、方法、課題、留意事項 ・避難所の運営の手順、運営組織、役割分担 ・避難所の各種活動内容、活動上の課題、留意事項(避難者の把握、トイレの確保、食料・物資の配布、救援・支援、要配慮者への対応、ペット対応、各種情報の受発信、衛生環境の整備、健康管理、防犯対策、ボランティアとの協力、帰宅困難者への対応等) ・避難所の閉鎖の考え方、方法
						C41	在宅避難者対応	在宅避難者への支援	在宅避難を行う際の課題と対応、要配慮者等の在宅避難者への支援の必要、支援上の留意事項等、在宅避難者支援に必要な知識やスキルを身につける。	災害時に、自主防災組織のリーダーとして、地域の要配慮者等に対して必要な情報や物資等を届けるなど、在宅避難者への支援活動を指揮することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅避難者の意味 ・災害時における在宅避難の課題、対応(事例等) ・地域で行う在宅避難者に対する支援の内容、留意事項(共助)(情報伝達、物資等の提供、各市区町村における在宅避難者への支援の取組、要配慮者への配慮を含む)
						C42		災害関連死を防ぐ取組み <新規>	過去の事例を基に災害関連死の存在を知るとともに、その発生の原因や課題、災害関連死を防ぐために地域で出来る取組について学ぶ。	災害発生後に、地域から災害関連死の発生を予防するために地域や避難所で出来る活動を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害関連死の意味 ・認定方法の概要(近年における認定の変化含む) ・災害関連死の事例 ・災害関連死を防ぐための取組(避難所における生活改善等) ・地域で出来る取組(避難所での生活改善、エコミークラス症候群・熱中症などの予防の呼びかけ、お薬手帳の活用、高齢者の見守り等)
						C43	防犯秩序維持	わがまち(地域)での防犯活動	被災生活における防犯対策の必要性と、安全な生活環境確保の方法について学ぶ。	災害時に、自主防災組織のリーダーとして、警察等と協力しながら防犯活動を行い、地域の安全を確保することができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における防犯対策の必要性(事例等、盗難等) ・地域ぐるみでの防犯活動の方法、活動上の留意事項(事例等)

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A3	災害応急対応(つづき)	災害への対応(つづき)	B15	被災生活への対応(つづき)	安心・安全に避難生活を送る(つづき)	C44	保健・環境衛生の確保	住民の健康を維持するための活動	エコミークラス症候群、感染症、心のケアなど、被災生活における健康面、衛生面の対策の必要性について学ぶとともに、地域における保健・環境衛生の確保のための方法について学ぶ。	災害時に、自主防災組織のリーダーとして、地域住民の心身の健康を守るための活動を行うことができる人材を育てる。	・避難生活等被災地で起きる心身の健康上の課題、対応策(事例等)(エコミークラス症候群、避難生活における心身疲労、既往症の悪化、救助・救護活動等による過労等、災害関連死にもつながる重要な課題事例) ・被災地に起きやすい環境衛生上の課題、対応策(事例等)(ライフラインの途絶や、生活ごみの収集やし尿処理の停止等による衛生環境の悪化等) ・地域で行う保健・環境衛生の確保対策(事例等、被災者への情報提供等)
						C45		災害廃棄物の処理 <C49から移動>	災害廃棄物(災害がれき、災害ごみ)の処分の仕組み、処分の方法について、自助・共助の両面から学ぶ。	地域の住民が安全かつ適切に自宅の災害廃棄物(災害がれき、災害ごみ)を処理することができるよう、自主防災組織のリーダーとして、地域住民に対する情報提供や災害ボランティアの活用した廃棄物の処理を行うことができる人材を育てる。	・居住する自治体の災害廃棄物処理の仕組み ・災害廃棄物処理の方法(自助) ・水害にあった場合の災害廃棄物処理の課題、対応上の留意事項(自助)(事例等) ・地震災害にあった場合の災害廃棄物処理の課題、対応上の留意事項(自助)(事例等) ・地域における災害廃棄物処理の対応(共助)(事例等、災害ボランティアの活用等)
						C46	生活相談等	行政と住民をつなぐ	被災者が抱える多様な課題と、その解決のために市区町村等が提供する生活相談等の対策について学ぶとともに、地域の被災者が適切に生活相談等を受けるために地域ができる支援の内容や方法について学ぶ。	災害時に、自主防災組織のリーダーとして、住民一人一人が被災後の生活再建ができるよう、地域住民に対して情報を提供するなどの支援を行うことができる人材を育てる。	・被災者が抱える課題、相談窓口など市区町村の対応(事例等) ・市区町村等が実施する生活相談等の対策(窓口の設置、その内容)(事例等) ・地域で行う生活相談等に係る対策(事例等、被災者への情報提供、自治体等への情報提供等)
						C47	災害ボランティアの受入	災害ボランティアの受入等	地域の被災者ニーズを把握して、ボランティアを受け入れることの必要性を理解するとともに、災害時におけるボランティアの活用方法について学ぶ。	自主防災組織のリーダーとして、地域や避難所における被災者ニーズの把握、災害ボランティアを受け入れ、コーディネート等の活動を行うことができる人材を育てる。	・災害ボランティア受入の課題、対応策(事例)(ニーズと支援可能な内容のマッチングの難しさ) ・災害ボランティアの受入・活用の方法、留意事項(コーディネートの方法、市区町村等との連携の方法等) ・ボランティア活動に参加する方法、活動上の留意事項

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A4	災害復旧・復興	暮らしと地域を再建するための取組み	B16	施設、設備の復旧への対応	地域基盤が復旧するまでを乗り切る	C48	施設、設備の復旧への対応	ライフライン等が復旧するまでの対応	過去の事例から、道路や鉄道、ライフライン等の地域基盤の復旧時期と、復旧までの暮らしに生じる課題と対応方法について、自助・共助の両面から学ぶ。	道路等交通輸送関係やライフラインの途絶に際し、復旧するまでの間、自主防災組織のリーダーとして自助・共助(マンション等)の対応を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 住民と地域が復旧・復興するための取組と流れ 道路の復旧対策、復旧の見通し(事例等) 鉄道の復旧対策、復旧の見通し(事例等) ライフライン復旧対策、復旧の見通し(事例等) ライフラインが復旧するまでの対応(家庭内、地域内の対応、長期間のライフライン途絶した場合の対応事例等、マンションにおける課題と対応を含む)
			B17	地域の復旧・復興への住民の取組	C45に移動	C49	災害廃棄物の処理	<C45に移動>	災害廃棄物(災害がれき、災害ごみ)の処分の仕組み、処分の方法について、自助・共助の両面から学ぶ。	地域の住民が安全かつ適切に自宅の災害廃棄物(災害がれき、災害ごみ)を処理することができるよう、自主防災組織のリーダーとして、地域住民に対する情報提供や災害ボランティアの活用等を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 居住する自治体の災害廃棄物処理の仕組み 災害廃棄物処理の方法(自助) 水害にあった場合の災害廃棄物処理の課題、対応上の留意事項(自助)(事例等) 地震災害にあった場合の災害廃棄物処理の課題、対応上の留意事項(自助)(事例等) 地域における災害廃棄物処理の対応(共助)(事例等、災害ボランティアの活用等)

大大項目			大項目			中項目			学習項目の概要	学習のねらい	学習内容(メニュー)例
No.	旧	新	No.	旧	新	No.	旧	新			
A4	災害復旧・復興(つづき)	暮らしと地域を再建するための取組み(つづき)	B18	住民と地域の復旧・復興への取組	暮らしと地域の再建に取り組む	C50	生活再建のための被災者支援	生活を再建するための支援	住民が生活を再建する際に利用できる支援の仕組みの概要について学ぶ。 また、地域で暮らす被災住民の一人一人が生活を再建するために、地域でできる支援や配慮について学ぶ。	地域に暮らす被災住民が、必要な生活再建のための支援・サービスを受けることができるよう、自主防災組織のリーダーとして、情報提供等の支援を行うことができる人材を育てる。	<p><暮らしと地域を再建する取組の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の生活と地域を再建するための取組と流れ <p><り災証明書の交付></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅等の被害認定調査及びり災証明書交付の仕組み ・住宅等の被害認定調査時の対応、留意事項(自助)(市区町村の計画に基づく) ・り災証明書の交付申請の方法、留意事項(自助)(市区町村の計画に基づく) <p><被災者支援制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者生活再建支援制度の仕組み、利用方法、留意事項(自助) ・災害援護資金の仕組み、利用方法、留意事項(自助) ・税金・保険料の減免の仕組み、利用方法、留意事項(自助) ・義援金の仕組み、利用方法、留意事項(自助) ・要配慮者等の生活再建上の課題、対応策(共助)(事例等、地域住民に対する情報提供等)
						C51	住まいの確保	住まいの確保	住まいを確保するための仕組みや、応急仮設住宅における地域コミュニティを維持するための運営方法について、自助・共助の両面から学ぶ。	地域内の被災住民が混乱することなく住まいを確保し、地域コミュニティを維持することができるよう、自主防災組織のリーダーとして情報提供を行ったり、応急仮設住宅等における地域コミュニティを維持するための取組を行うことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいを確保するための制度 ・自宅の修理費用への支援の仕組み ・応急仮設住宅の仕組み(建設仮設、見なし仮設) ・応急仮設住宅等の運営、課題、留意事項(地域コミュニティの維持、要配慮者への配慮等) ・本格的な住まいの確保の仕組み(災害復興住宅、自宅再建)
						C52	地域の復興	地域復興への参画	過去の災害における復興事例から、復興の進め方と生じる課題、復興における住民参画の必要性、地域で取り組む災害復興の方法について学ぶ。	地域が主体的に復興計画やまちづくり活動に参画するなど、自主防災組織のリーダーとして、行政等と一体となって地域の復興に取り組むことができる人材を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害からの復興の流れ(事例等) ・地域の復興の進め方(市区町村の計画に基づく) ・地域の復興上の課題、対応策(共助)(事例等、地域の復興計画づくりに住民が参画して、地域で取り組むための方法等)